

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(227)(HP 収載)

—カラヤンのモーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》—

1. 始めに

前報(226)に引き続き、STAGE+のカラヤンのモーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のカラヤンのモーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》の演奏を選びました。

カラヤンがモーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》を指揮
オペラ

ウィーンフィルハーモニー管弦楽団

収録日: 1987年7月31日

本映像には、1987年のザルツブルク音楽祭で上演されたモーツアルトのオペラ《ドン・ジョヴァンニ》が収められています。ヘルベルト・フォン・カラヤンが指揮するこの公演は、歴史ある音楽祭のなかでも特に注目すべきものとなりました。キャストにはユリア・ヴァラディにキャスリーン・バトル、フェルッチョ・フルラネットといった名ソリストたちが揃っており、それぞれのキャラクターや魅力をカラヤンとウィーンフィルが見事に引き出しています。

ソリスト:

キャスリーン・バトル (ソプラノ)、パート・ブルチュラーゼ (バス)、サミュエル・レイミー (バス)、アンナ・トモワ=シントウ (ソプラノ)、ユリア・ヴァラディ (ソプラノ)、フェルッチョ・フルラネット (バス)、イエスター・ヴィンベルイ (テノール)、アレクサンダー・マルタ (バスバリトン)

演奏:

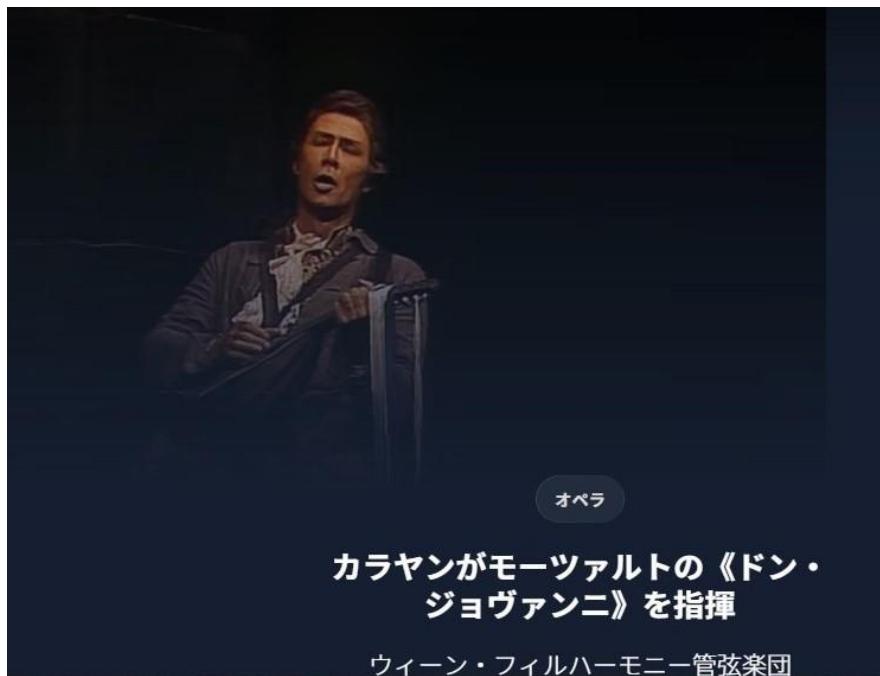
ウィーン国立歌劇場合唱団、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団

指揮:

ヘルベルト・フォン・カラヤン

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト 歌劇《ドン・ジョヴァンニ》K. 527



カラヤンがモーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》を指揮

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。1987 年のザルツブルク音楽祭の収録で、画面が狭いので TV 用の収録かもしれません。

ドン・ジョヴァンニは、前報(223)でフルトヴェングラーの 1954 年収録のものを試聴していますが、収録年代が下っているだけあって、映像も鮮明であり、音質も向上しています。

ソリストの歌唱は鮮明で、ダイナミックな歌唱の男性陣に交じってのバトルの清純な歌声が光ります。

カラヤンは、オペラも得意で、ウィーンフィルをダイナミックに盛り上げていきます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した結果、カラヤン指揮によるダイナミックなオペラの魅力を伝えてくれました。

以上